

講習の名称：日本語のしくみ

担当講師：小林英樹（教育学部教授）

講習開講日：平成 29 年 8 月 22 日（火）

時間数：6 時間

主な受講対象者：

日本語について理解を深めたい国語教諭、日本語について知りたい英語教諭など

キーワード：日本語、文法

講習の概要：

英語の授業で will は「～だろう（でしょう）」と教わるが、新幹線の車内で目にする We will soon arrive at TAKASAKI. という案内を「まもなく高崎に到着するでしょう」と訳したら、変な感じがする（本当に高崎にとまってくれるのか少し不安になる）。この場合は、「まもなく高崎に到着します」と訳すべきだろう。この講座では、日本語の述語に焦点をあてながら、日本語のしくみを考えていく。

講習の展開：

- 第 1 時限 膠でペチャペチャ
日本語の述語について解説する。
- 第 2 時限 「読む」と「読まれる」
日本語の受身について解説する。
- 第 3 時限 「読む」と「読んだ」
日本語のテンス（時制）について解説する。
- 第 4 時限 「読む」と「読んでいる」
日本語のアスペクトについて解説する。

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特にはないが、言葉について興味をもっていること。

授業の形式：講義形式

履修認定試験：

論述形式の筆記試験（プリント等は持ち込み可）

テキスト・参考文献：

プリントを配布する。参考文献は、授業の中で紹介する。